

大道、八戸での4年間結実

八戸の3位指名を受けた八戸大の大道温貴は八戸で送った野球漬けの4年間で結実し、プロ野球の世界に飛び込む。高校時代はほぼ無名の選手だったが、投手育成に定評のある同大の正村公弘監督の下、厳しい練習に精を出してきた。毎年のように成長を実感できた。(八戸が)今の自分を「ついで」くれた。

高校時代の恩師の言葉が転機となった。「プロを目指すなら、(首都圏の大学より)地方で早くから投げ、活躍する方がいい」。結果、大学では1年春から先

発を任せられた。同大からプロ入りした二つ上の高橋優貴(巨人)の存在も大きかった。「意識していたし、いい刺激になった」。

4年間は直球の質の向上や変化球の球種を増やすなど、努力の虫だった。正村監督とは投球面で意見がぶつかることもあったというが、「4年生になつてか



おおみち・はるき 1999年1月生まれ。埼玉県川口市出身。春日部共栄高一八戸大。最速150km/hの直球とチェンジアップやスライダーなど多彩な変化球を武器とする本格派右腕。北東北大学リーグ通算22勝。身長178cm、体重83kg。右投げ・右打ち。

中道「切磋琢磨し合えた」

八学大の技巧派左腕、中道佑哉は、3年春から共に「一枚看板」としてチームをけん引してきた大道温貴と共にプロへの扉を開いた。「いいお手本が身近にあったことが大きかった。参考にしている部分もあり、切磋琢磨し合えた」と充実感をにじませた。



なかみち・ゆうや 1998年9月生まれ。十和田市出身。市立三本木中一八学野西高一八学大。最速147km/hの直球にスライダーやスプリットを織り交ぜる技巧派左腕。北東北大学リーグ戦の通算成績は11勝2敗。身長182cm、体重75kg。左投げ・左打ち。

して、2軍、3軍からでも活躍していきたい」と抱負。八戸の指名を受けた大道とは違うバ・リーグでのプレーとなるが、「日本シリー

2桁背番号 目指したい

「育成2位指名を受けて、率直な気持ちで、不安な気持ちで待つていたが、指名されてホッとした。目指したい。ソフトバンクの育成2位に指名され、取材に応じる中道佑哉



ソフトバンクに育成2位で指名され、取材に応じる中道佑哉=26日、八学大

球速上げ制球力も磨く



八戸大に3位で指名され、笑顔で取材に応じる八学大の大道温貴=26日、八学大

「八戸から3位指名を受けた率直な気持ち。名前を呼ばれた瞬間はうれしい気持ちでいっぱいだった。プロから必要とされているということを実感した。八戸の印象は。詳しいことは分からないが、若手育成が上手なチームだと思う。春日部共栄高時代はユニホームの色が赤だったので、赤を着られるのはうれしい。1年目の目標は。まずは1軍での登板を目指す。今のままでは実力不足。球速を上げて、制球力も高めていきたい。」

「目指す選手像は。今はさまざまな賞を取りたいとは思えないが、登板した分だけ勝利数を意識して、チームを勝たせられる投球をしたい。一対戦してみたい打者。巨人の坂本勇人選手(光星高出)。セ・リーグでは一番すごい打者だと思う。対戦はいつになるか分からないが、思いきり勝負してみたい。一八戸での4年間は。1年春からずっと投手のローテーションを守ってこられて、感謝と充実感でいっぱい。31日からは東北地区大学王座決定戦が控えているので、チームにはプレーで恩返ししたい。」